



# 学校だより 7月

令和5年6月30日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>

## 自分を好きに

校長 大島 恵子

上学年の子どもたちにとって大きな学校行事である宿泊学習が、それぞれ無事に終わりました。各学年子どもたちが決めたスローガンのもと、4年生は上郷、5年生は御殿場、6年生は日光で学校だけではできない多くのことを体験し、学んできました。また、友達や先生と二日間一緒に過ごすという特別な体験は、子どもたちにとって多くの学びであり、かけがえのない思い出がたくさん作れたことと思います。ご準備等保護者の皆様には、ご協力をいただきありがとうございました。

七夕が近づいてきたこの季節、今年も芹が谷南小学校の昇降口には、技術員さんが用意してくださった笹に子どもたちが願い事を書いた短冊が吊るされ、風に揺れています。ほしいものや願いがストレートに書かれた短冊。「100万円が手にはいりますように」何かほしいものがたくさんあるのかな。「〇〇(人気のアイドル)と結婚したい」その人のことが大好きなんだね。将来の夢が書かれている短冊もあります。「でんしゃのうてんしになりたい」いいね!運転士さんかっこいいよね。「たいそうせんしゅになりたい」体操を習っているのかな?頑張って練習を続けて願いが叶うといいね。「おとなになったら、小学校の先生になれますように」芹南の先生方に憧れて、そう思ってくれているならうれしいな。自分のことだけではなく、家族、周りの人、世界に目を向けた願い事もありました。「家族が元気で長生きできますように」「病気がなくなりますように」「世界中で不自由な思いをする人がなくなりますように」子どもたちの優しい思いがあふれています。

一枚一枚書かれた短冊を読みながら、子どもたちそれぞれに自分の願いごとがあり、将来への夢や希望を抱いていることに温かい気持ちになりました。自分の願いごとや希望をもち、それを素直に表現するためには根底に「自分が好き」「自分を大切にしたい」という思いが欠かせないと思います。自分を大切に思えない人が、自分の将来に夢や希望を描くことは難しいでしょう。この「自分が好き」という自己を肯定する思いは子どもたちがこれから長い人生を歩いていくときの土台になるようなもの、樹木でいえば枝や葉を支える太い幹のようなものではないでしょうか。「自分が好き」だけでは困ってしまいますが、この自己を肯定する気持ちは、つらいことがあってもそれを乗り越える強さやあきらめなくて挑戦しようという気持ち、友達のことを認め大切に思う気持ちの軸になるものだと思います。本校は令和5年度重点取組の一つとして「自己肯定感を高め、たくましく生きる力の育成」を挙げております。夏には講師をお招きし、「子どものモチベーションを上げて、自己肯定感を高めるには」をテーマに職員研修を行います。自分も友達も好きで、夢や未来に希望をもてる子どもを育ていけるよう、職員一同日々努めたいと思います。



今年の七夕は晴れるでしょうか。みんなの願い事が叶いますように。